

令和 3 年 度

令和 3 年 1 月 24 日実施

入 学 試 験 問 題

(看護学科 3 年課程)

国 語 総 合

◎指示があるまで開いてはいけません

注 意

1 解答用紙には、氏名・受験番号・志望校名が印刷されているので、あなたの解答用紙かどうかを確認すること。

なお、氏名欄、志望校名欄には、氏名、志望校名を漢字で正確に記入すること。

2 この問題は、表紙を除いて 1 ページから 16 ページまでであるので確かめること。

3 試験の時間は、9 時 00 分から 9 時 45 分までの 45 分とする。

4 解答には、**HB 又は B の鉛筆** (シャープペンシルも可) を使うこと。

5 問題は、5 肢択一式により出題されている。解答方法は、次のとおりとする。

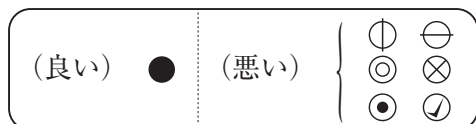
(1) 5 肢択一式問題の正解は、各問題とも 1 つである。解答用紙の所定のマーク欄に、正解の番号を 1 つだけマークすること。2 つ以上マークされている場合は無得点とする。

(2) 解答用紙の〔記入上の注意〕をよく読んでマークすること。

例 〔問 1〕日本の首都は次のうちのどれか。

① 京都 ② 福岡 ③ 東京 ④ 大阪 ⑤ 神戸

正解は「③ 東京」であるから解答用紙のその問題番号の次にならんでいる
マーク欄 ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を鉛筆で ● のように
マークして ① ② ● ④ ⑤ とすればよい。



(良い) のようにマークする。
(悪い) のようだと機械で読み取れないことがある。

既にマークした解答を消す場合は、プラスチック消しゴムでよく消すこと。

国語総合

□ 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

江戸時代に作られた螺鈿(注1)らでんがほどこされたとても美しい印籠(いんろう)を、「パーソナル・コンピュータの父」アラン・ケイと一緒に見せてもらったことがある。手にとって、□ A 見とれていたケイは、薬を入れて身につけていたものだという説明を聞いて、こう言ったものだ。「日本人はこんな美しいモバイルを作っていたのに、いまの携帯電話はなぜあんなに醜いのか」

日用品の中に美を込めようとする日本の気質は、その後、世界に受け入れられることになる精巧な工業製品にある程度、受け継がれているが、大量生産、大量消費では、無難で中庸的なものを出さざるを得ず、アラン・ケイの詠嘆となる。

いまは、美は日用品から切り離され、美術品として目的化されたものとなり、□ B 美術館や博物館という閉じられた空間に囲い込まれ、眺めるだけのものになってしまった。しかし日本では元来、眺めるだけの美は存在せず、たとえ絵であっても、空間を仕切る屏風(びんぶ)や襖(たすき)に描かれ、掛け軸すらも客人に何らかのメッセージを伝え、季節感を伝えるものであった。

生活の中にこそ美を置こうとして、美しさを生活の中に込めてきた。街角、着る物、食べる物という日常の中に美を埋め込んできた。きものや器、仏像、地蔵、そしてすぐに消えてしまう料理にいたるまで、日常のすべてのものの内に美を生み出し、あるべきところに美は分散・ヘン(へん)ザイしていた。

床の間という、自然を屋内に呼び込み、美をカン(かん)ショウする空間が、□ C 小さな家にもしつらえられていた。私が生まれた家にはあったが、いま住む家にはない。

普段使うものは飾り立ててカビになると、すぐに飽きてしまう。そう、飽きのこないことが重要だった。

しかし、たまに眺める美術品になると、眺められるわずかな瞬間に価値が決定されるため、装飾過多であるほうが注目されることになる。ジャポニズムの波に乗って欧米への輸出目的で作られるようになった日本の工芸品は、普段使われるものとしての日常性が失われ、美術品になり、美術館のためのものに墮(お)しているのがよくわかる。万国博覧会に出席されたような品々は技巧的には素晴らしかったが、それは本(ほん)当(とう)に使用したいもの、使われるものではなくなっていた。

欧米の生活様式に合わせて作り出された日用品は、服から家まで衣食住に関するすべてのものが購入した途端に価値が下がっていく。しかし、かつての日本の日用品は違った。買ってから価値が上がるものもあった。いまでこそ紬(ちゆう)は高級品になったが、昔は、お召(おび)し

を作った後の残りの絹のくずで作られていて、格の低いきものとされていたため、絹のほうが高くなってしまったいまでも式典や茶会などでは着てはいけないとされている。

江戸時代に絹織物の着用が町民には禁止されていた時代でも、普段着として紬の着用が許されていた。紬は真綿といわれる絹のくずから細い糸を紡ぎ出し、ひねりを加えて強度を高めているため、織り上げたとき、少し固めの感触があるが、着ているうちに次第に柔らかくなり、着れば着るほど着心地がよくなってくる。かつて大店の主人が結城紬を手に入れると、一年間使用人に着させて、何度も洗い張りをして柔らかくしてから着用したと言われている。

洋服では、一年間誰かに着せてから着るといことは考えられない。他人が着た途端、古着となる。きものだけではない。

日本の様々な日用道具は、使い込まれて、使用する人の癖や使用方法がなじんでくる経年変化が織り込み済みである。そのため使っている人にとっては、価値は減じるどころか、増してきて、ものを大切にし、長く愛用することになる。短期間に古びさせて、捨てさせるという方法とは真逆の考え方だ。

「愛用」という言葉すら死語になりつつあり、短いサイクルでものは次から次に捨て去られていく。普段使っているもので、一番長く使っているものはなにか、そして製造年月日はいつなのかを思い浮かべてほしい。私の場合は、形見分けでもらったきものと時計だ。私が生まれる前のものだ。食器もそうかもしれない。

生活様式の劇的な変化から、そういった愛用できるものが駆逐されていった。かつては日用品だったものが、高価な美術工芸品になってしまい、修理できる職人も少なく、修理部品の確保なども難しい高級品になってしまい、さらには、そういった物は商売として成り立ちにくくなってしまった。結果的に愛着もわかない、安くて一見便利なものだけに取り囲まれていき、その反動として法外な値段のブランドものに「愛着」のはけ口を求めることになる。

(浜野保樹『模倣される日本』より)

(作問の都合上、一部表記を変えました。)

(注1) —— 螺鈿：ヤコウガイ・オウムガイなどの貝殻を材料に用いた工芸技法。

(注2) —— お召し：和服の絹織物の中でも高級品とされる「御召縮緬」の略称。

(注3) —— 大店：規模の大きな商家。

〔問1〕 空欄 A、B、C に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|------|
| ① | A | ゆっくり | B | そして | C | たとえ |
| ② | A | しばらく | B | つまり | C | きわめて |
| ③ | A | しばし | B | また | C | どんなに |
| ④ | A | じっと | B | なお | C | かりに |
| ⑤ | A | にわか | B | しかし | C | いくら |

〔問2〕 アラン・ケイの詠嘆とあるが、詠嘆の対象として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 日用品の中に美を込めようとする、昔の日本人が持っていた日本の気質が、現在大量生産されている製品からは感じ取れないということ。
- ② 日用品の中に美を込めようとする、昔の日本人が持っていた日本の気質が、いまでは美術品を作る職人にしか受け継がれていないこと。
- ③ 日用品の中に美を込めようとする、昔の日本人が持っていた日本の気質が、いまでは精巧な工業製品にのみある程度受け継がれていること。
- ④ かつて日本人が作っていた日用品の中には美しさが込められているのに、いまの日本人が作っている製品には美が全く込められていないこと。
- ⑤ かつて日本人が作っていた日用品の中には美しさが込められているのに、いまの日本人は無難で中庸的な製品を好んでつくる傾向にあること。

〔問3〕

ヘン^aザイ、カン^bショウ、カ^cビの傍線部に該当する漢字を含む熟語の組み合わせとして正しいものは、次のうちのどれか。

- | | | | | |
|---|---|--------------|---|-------------|
| ① | a | 書物をヘン集する。 | b | 主カン的な見方をする。 |
| | c | 造カを飾る。 | | |
| ② | a | 諸国をヘン歴する。 | b | 証拠をカン識に回す。 |
| | c | 繁カ街に人があふれる。 | | |
| ③ | a | 普ヘン的な価値を持つ本。 | b | 物資を交カンする。 |
| | c | 烈カのごとく怒る。 | | |
| ④ | a | ヘン食を改善する。 | b | 印カンを押す。 |
| | c | カ空の取り引きを見破る。 | | |
| ⑤ | a | 木ヘンで工作する。 | b | 軍カンに乗船する。 |
| | c | 豪カな邸宅に住む。 | | |

〔問4〕

それは本^②当に使用したいもの、使われるものではなくていたとあるが、その理由として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 欧米への輸出目的で作られた日本の工芸品は、装飾過多の美術品となつてしまったため、普段使う日用品としては使いづらいものとなったから。
- ② 欧米への輸出目的で作られた日本の工芸品は、装飾過多のものが求められるようになった結果、工芸品としての魅力が失われてしまったから。
- ③ 欧米への輸出目的で作られた日本の工芸品は、美術館のための美術品となつてしまい、わずかな瞬間で価値が判断できるものが求められたから。
- ④ 欧米への輸出目的で作られた日本の工芸品は、普段使われるものとしての日常性が失われ、工芸品として技巧的に劣るものになったから。
- ⑤ 欧米への輸出目的で作られた日本の工芸品は、装飾過多の美術品となつてしまったため、普段使う日用品としてはすぐに飽きがくるから。

〔問5〕

③ 紬とあるが、筆者が文章中に紬を例として用いることによって述べたこと
ととして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① かつての日本の日用品は経年変化が織り込み済みであり、使えば使うほど価値が増すようなものであったということ。
- ② かつての日本の日用品は経年変化が織り込み済みであり、使い込まれること
によって高級品にすらなつたということ。
- ③ かつての日本の日用品は、使用する人の癖や使用方法がなじんでくる経年変
化を楽しむものであったということ。
- ④ かつての日本の日用品は、買ってから価値が上がるものもあり、短期間に古
びさせるようなこともあったということ。
- ⑤ かつての日本の日用品は使い込まれて価値が上がるものもあったが、欧米の
日用品にはそのようなものはないということ。

〔問6〕

④ 法外^④なとあるが、これをほかの言葉で言いかえた場合に当てはまる言葉として
最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 尋常な
- ② 顕著な
- ③ 目ぼしい
- ④ 度を越えた
- ⑤ 冗長な

〔問7〕 この文章の内容に合致するものとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① ジャポニズムの波に乗って日用品が欧米へどんどん輸出されたために、美しい日用品が日本からすっかり姿を消した。
- ② 日用品が欧米の生活様式に合わせて作られるようになった結果、使い込むにしがって愛着がわくものが駆逐されていった。
- ③ かつて日本人が日常の中で使っていたものは今や美術館や博物館に陳列され、日本の精巧な技術の象徴となっている。
- ④ 日本の様々な日用道具は使用する人の手で使いやすいうように改良されていき、さらに高価なものになっていった。
- ⑤ かつての日用品が高価な美術品になった結果、人々は安くて一見便利なものだけを購入するようになっていった。

〔一〕 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

写真をすべてブリキの箱に戻そうとすると、きらめきが見えた。箱の底にまだなにかある。

つまんで取り出した。それは、金色の折り紙でつくられた手裏剣だった。

ああ——僕は思い出す。二年生への進級を控えた春休み、髪の毛の長い彼がくれたものだ。休みが明けのを待たず、彼は転校することになっていった。

自転車にまたがり、僕たちはただだっ広い公園の円周を少しも飽きずに走りつづけていた。僕が先頭で、すぐ後ろを彼が同じ距離を保ってついてきた。

一年生の初め、彼は自転車で乗れなかった。五つ上の兄がいて、そのおさがりの自転車があるのに全然だめだった。僕がそれをばかにし、またけんかになりかけたこともある。でもそのときは、僕が「一緒に練習してやる」と提案した。彼は殴りかかろうとしていた拳を引つ込め、「ほんと?」といった。僕がうなずくとすっかり安心した顔になって笑った。彼がそんなに素直な笑顔を見せるのは珍しいことだった。

無我夢中で自転車を漕いでいると、時間の進みかたがほかとはちがうような気がしてくる。世の中とは相容れない、自転車のスピードにしかわからないものがあるみたいだった。顔に激しくぶつかる風、横をものすごい速さで過ぎていく景色、そういったものがそれを証明していた。そして、これと同じものを後ろの彼も感じているはずだった。(中略)

あと何周するかも決めないで、僕たちはペダルを漕ぎつづける。

「どのくらい遠いの」風の音が耳元でうるさくて、叫ぶようにして訊いた。「次の学校、どのくらい遠いの」

後ろから叫び返す声があった。「そんなに遠くない。たぶんだけど」彼がここまで声を張るというのもまた珍しく、いいものを聞いた気がした。

僕は「ふうん」とそっけなくうなずいたあと、「じゃあ、二度とこっちに来られないってわけでもないんだ」とつづける。

彼は「そうだね」と答え、しばらく黙った。

僕たちは自転車を漕ぎつづける。真横を過ぎ去っていく景色と風を感じている。

「来いよ」僕は叫んだ。

なにか答える代わりに彼はベルを二回鳴らした。なんだそれ、と僕は笑った。知らない、と彼はばかにしていった。けんかにはならなかった。

公園をぐるぐるしつづけているうちに太陽の位置はすっかり変わって、空は暗くなっていた。「止まるよ」と叫んでから、僕はブレーキを握る。彼の自転車は僕の横について止まった。ふたりともじんわり汗をかいていたし、X。髪の毛は汗で光っていた。風のおかげで涼しかったけど、疲れている。

「門限、過ぎそう」彼がいった。

僕はうなずいて、「じゃあ帰るか」とふたたび自転車を漕ぎだした。こんどはゆっくり

だ。彼もつづく。

公園を出てふたつめの交差点まで、ふたりして無言だった。頭のなかではなにかのCMソングが延々と流れていた。場ちが良かった。この春休みが終わったら、僕たちは二年生になり、別々の学校に通いはじめる。そんなの、痛くもかゆくもない。痛くもかゆくもないけれど、少しだけ、怖い。

じゃ、と行って、僕は右に曲がる。彼がゆく道は左だ。CMソングは相変わらず鳴り響いていて、だから、それに合わせて鼻歌をうたった。お別れはあっさり。振り返らないのがかっこいい。鼻歌は何度も同じフレーズをくりかえした。太陽が沈みかけ、空がオレンジともピンクともつかないおかしな色になっていた。

「待って」

彼が自転車を飛ばして追いついてきた。

僕は鼻歌をやめた。「あれ、おまえ、こっちだったっけ」

「止まってよ」

「なんで」

「いいから、止まって」

「だからなんで」

僕が意地を張っているを見て、彼は進行方向に回り込んできた。危ねえよと、しかたなしに僕は止まる。「なんなんだよ」

これ、と差し出してきたのが、金色の折り紙の手裏剣だった。

「これって、あれじゃん」僕は驚いていった。前の週の授業で折り紙をやったときに、彼は金色の折り紙をどうしても譲ってくれなかったのだ。理由を訊いても、だめなものだめとしかいわなかった。

「あげる」彼はぐいっと手裏剣を突き出してきた。

どうして、くれる気になったんだろう。

その代わりにおとなしく手裏剣を受け取り、ありがとうといった。彼にちゃんとお礼をいうのは、もしかしたら初めてかもしれない。Y

じゃあまたね。彼はそうやって道を明け渡した。僕は太陽の残り火を折り紙に映して眺めてから、彼のほうを向いて「またな！」といった。またという言葉がだいじなんだと思っ

(北川樹『ホームドアから離れてください』より)

(作問の都合上、一部表記を変えました。)

〔問8〕 彼は殴りかかろうとしていた拳を引つ込め、「ほんと？」といった^①とあるが、このときの「彼」の様子として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① いつも自転車に乗れない自分をからかっていた「僕」が、いきなり「一緒に練習してやる」と協力的な態度を示してきたので、驚くと同時に半信半疑になっている。
- ② いつも自転車に乗れない自分をからかっていた「僕」が、いきなり「一緒に練習してやる」とまじめな態度を示してきたので、驚くと同時にうれしくしかなかった。
- ③ 自転車に乗れない自分を兄と一緒に見下してばかりいた「僕」が、いきなり「一緒に練習してやる」と味方のようなことを言うので、何か裏があるのでないかと疑っている。
- ④ 自転車に乗れない自分をいつも見下していた「僕」が、「一緒に練習してやる」という言葉を言ったので、聞き間違えたと思い、もう一度確認したいと思っている。
- ⑤ 自転車に乗れない自分をいつも見下していた「僕」が、いきなり「一緒に練習してやる」と言うはずのないような言葉を言ったので、驚きのあまり呆然としている。

〔問9〕 そっけなく^②とあるが、「そっけない」という言葉の意味として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① しつこくない
- ② はっきりしない
- ③ 愛想がない
- ④ 決心がつかない
- ⑤ 張り合いがない

〔問10〕

空欄 X に当てはまる慣用句として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 目が泳いでいた
- ② 胸が痛んだ
- ③ 胸がつまっていた
- ④ 息が上がっていた
- ⑤ 息を殺していた

〔問11〕

少しだけ、怖いとあるが、「僕」が「怖い」と感じている最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 「彼」が転校することによって、これまで優位に立っていた「僕」の立ち位置が逆転してしまうこと。
- ② 「彼」が転校することによって、「僕」と「彼」との立ち位置がリセットされてしまうこと。
- ③ 今までの「僕」と「彼」との関係性が、「僕」と「彼」が別々の学校に通うことによって変化すること。
- ④ 今までの「僕」と「彼」との関係性が、「彼」が転校することによって強固なものになること。
- ⑤ 今までの「僕」と「彼」との関係性が、「彼」の転校によって恐怖を感じるものへと変化すること。

〔問12〕

空欄 Y に当てはまる文として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① そんな疑問が浮かんだので単刀直入に訊くことにした
- ② そんな疑問が浮かんだけれど彼は答えてくれなかった
- ③ そんな疑問が浮かぶ間もなく彼は手裏剣を差し出してきた
- ④ そんな疑問が浮かんだけれど訊かないでおくことにした
- ⑤ そんな疑問が浮かんで手裏剣どころの話ではなかった

〔問13〕 この文章の叙述の特徴として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 固有名詞をあえて省略することで、「僕」の視点と「彼」の視点の境目を曖昧にしている。
- ② 会話を少なく情景と心情の描写を多くすることで、「僕」の心情を客観的に表現している。
- ③ 現在の「僕」が第三者の視点となり、過去の「僕」と「彼」の心情を掘り下げている。
- ④ 「僕」と「彼」の心情描写を中心に、現在から過去、過去から現在と場面を切り替えている。
- ⑤ 情景描写を適宜加えながら、現在の「僕」が過去の「僕」の心情を回想する形をとっている。

〔問14〕 この文章で描かれている「僕」と「彼」の関係として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 「僕」と「彼」は、公園を自転車と一緒に周回しつづけているうちに素直な感情を取り戻していき、帰宅する頃にはすっかり打ち解けた関係になった。
- ② 「僕」と「彼」は、「彼」の転校という事態に到ってすら素直に接することができないでいたが、最後には互いに相手との心の距離を縮めることができた。
- ③ 「僕」と「彼」は、「彼」が転校する直前の公園での交流によって互いの友情を確認し、「僕」が素直になったことで「彼」の心を開くことができた。
- ④ 「僕」と「彼」が、自転車の練習につきあうという出来事を通して心を通わせたいき、最後は「僕」が折れる形で「彼」に心を開くことができた。
- ⑤ 「僕」と「彼」は、公園では素直になれず仲違いする場面もあったが、最後にはこれからも変わらぬ友情を誓い合うことができた。

③ 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

ヒトには五感といわれる5つの感覚(味覚、嗅覚、視覚、聴覚、触覚)がある。視覚を通して光情報を受け取り外の様子を見ること、聴覚を通して音の情報を外から感ずること、また、触覚を用いて物の存在を認識することは、物理的な情報に対する感覚である。一方、味覚や嗅覚は化学物質を介しての情報伝達である。食事や香りを楽しむことで我々の生活を豊かにすると同時に、他の感覚では気づけない有害な物質をサツチ^aすることができ^る。

ヒトの場合、味覚の中でも最も敏感に感ずるのが苦味、次いで酸味、次が塩味、旨味、そして一番感度の低いのが甘味ということになっている。苦味は毒などの有害物質の情報を伝える味、酸味は腐敗したものの情報を伝える味であり、わずかな濃度でも敏感に感ずることで我々の安全を守ることになる。最も感度の低い甘味は、我々のエネルギー源であるブドウ糖などの味だ。必要なエネルギーをできるだけたくさん確実に確保するための情報で、比較的緊急性が低いため感度が低くなっていると考えられている。

我々の生命を守るために働くシステムである味覚を、本来の目的からさらに進化させ、自らの生活の豊かさ^①に使うヒトは欲張りな生物である。

味覚は、砂糖などの甘味物質、食塩などの塩味物質、グルタミン酸などの旨味物質、酢酸などの酸味物質、茶カテキンなどの苦味物質が、味覚のセンサーである受容体タンパク質に触れることで感ずることができる。

味覚に対する感度はそれぞれの食性を反映し、動物によって異なっている。味を感ずる味覚受容体細胞である味蓄^{みらい}の数で比べると、イヌは1700～2000で、ヒトの5000よりもはるかに少ない。ネコはさらに少なく、500～800ぐらいといわれている。一方、草食動物は2万前後でヒトよりはるかに多い。ヒトよりはるかにX^②の優れたイヌは、Y^③ではるかに劣ることになる。ネコなどのネコ科の肉食動物は甘味を感ずるための遺伝子が欠損しており甘味を感じないと考えられ、一方、肉の腐敗の程度を知るためZ^④に対しては敏感である。また、パンダは旨味を感ずるための遺伝子が欠損していることが知られている。〔ア〕

匂いは、嗅覚センサーである受容体タンパク質に、匂い物質が触れることで感知する。空気中の化学物質が鼻腔^{びょうくう}中の嗅覚細胞の膜外に露出した嗅覚受容体にフチャク^ぶすると、受容体タンパク質の構造変化が細胞内に伝えられ、その結果イオンチャンネル^{注1}が開き脱分極により電気信号が生ずる。この電気信号が神経を通して脳の嗅覚中枢に伝えられて匂いを感じ^る。〔イ〕

嗅覚の感度は動物の種類によって異なっており、ヒトに比べるとイヌの嗅覚ははるかに優れていることはよく知られている。嗅覚受容体の遺伝子の数が多いのがアフリカゾウで1948、続いてウシ1186、マウス1130、ウマ1066、イヌ811となり、ヒトは396といわれている。イヌはヒトより嗅覚が優れているが、アフリカゾウの方が

アットウ^c的に優れた嗅覚を持っていることになる。ヒトは必ずしも嗅覚が優れているわけではないが、1万種の匂いをかき分けることができるとの説もある。「ウ」

なお、ヒトでは男性より女性の方が嗅覚の感度が高いといわれており、その理由は嗅覚に関するニューロン数や嗅球が女性^(注3)は男性の倍ほどあるためと考えられている。このことから匂いに対して男性が鈍感であることが理解される。「エ」

嗅覚は、もともと野生の生活の中で危険を感じたり、食べ物を見つけたり、仲間とのコミュニケーションをとったりするのに必要な感覚であったが、視覚や聴覚を発達させた我々人類は嗅覚をそれほど必要としなくなったために嗅覚は退化したのではないかと考えられる。「オ」

食べ物^{おい}を美味しく食べるには味覚だけでなく嗅覚も大きく関与していることは、日常生活の中で経験することである。ウナギのかば焼きの香りや、カレーライスの香り、ラーメンの香りで食欲がそそられる経験は日常のことである。

(黒柳正典『人の暮らしを変えた植物の化学戦略』より)

(注1) —— イオンチャンネル：細胞膜において、体液中の特定のイオン（正または負の電気を持つ原子）を通過させるタンパク質の通路。

(注2) —— 脱分極：静止状態のときには細胞外が正、細胞内が負であったものが、刺激により正の電気を持つイオンが細胞内に入ることによって、細胞内が正に転じていくこと。

(注3) —— ニューロン：受けた刺激を他の細胞に伝達する能力を持つ細胞。神経細胞。

(注4) —— 嗅球：鼻で得た嗅覚の刺激を処理する脳の組織。

〔問15〕

サツ^aチ、フ^bチャク、アットウ^cの傍線部に該当する漢字を含む熟語の組み合わせとして正しいものは、次のうちのどれか。

- ① a 摩サツで毛玉ができる。 b 算数で用いるフ号を読み取る。
 c 笑い話に抱腹絶トウする。
- ② a 医師が診サツする。 b フ録を目的に雑誌を購入する。
 c 石につまずいて転トウする。
- ③ a 見られているとサツ覚する。 b 防フ剤を一緒に入れておく。
 c 互いに健トウを讃え合う。
- ④ a 人事をサツ新する。 b 納フ期限を守る。
 c 雑トウの中を歩く。
- ⑤ a 警サツ官に逮捕される。 b 会社が巨額のフ債を抱える。
 c 不法トウ棄を取り締まる。

〔問16〕

欲張¹りな生物であるとあるが、筆者が「欲張り」と表現している理由として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 味覚は我々の安全を守る上でとても重要な感覚なのに、「生活の豊かさ」という生きていく上で全く不要な目的にまで使用しているから。
- ② 味覚は我々の安全を守るための重要な感覚なので、腹が満たされるという「生活の豊かさ」を得るための目的にまで利用するべきではないから。
- ③ 味覚の「有害な物質を察知する」という目的と「生活の豊かさ」という目的を人間が生活するという観点で比較すると、後者の方が重要度が低いから。
- ④ 「有害な物質を察知する」という味覚本来の生命を守るという目的とは違い、「生活の豊かさ」という緊急性の低い目的に対しても進化させているから。
- ⑤ 「有害な物質を察知する」という味覚本来の生命を守るという目的を進化させることによって、味覚を感じるための物質を増やしてきたから。

〔問17〕

空欄 X、

Y、

Z

に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切

なものは、次のうちのどれか。

①	X	嗅覚	Y	味覚	Z	酸味
②	X	触覚	Y	味覚	Z	酸味
③	X	触覚	Y	嗅覚	Z	苦味
④	X	嗅覚	Y	触覚	Z	苦味
⑤	X	嗅覚	Y	味覚	Z	苦味

〔問18〕

「一方、イヌはあまり目が良くないといわれており、それを補うために高い嗅覚を維持しているのだろう。」という文を文章中の「ア」～「オ」のいずれかに入るとき、入る場所として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 〔ア〕
- ② 〔イ〕
- ③ 〔ウ〕
- ④ 〔エ〕
- ⑤ 〔オ〕

〔問19〕

この文章で「味覚」と「嗅覚」についての説明に共通している点の説明として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① どちらも感覚を感じる仕組みについて説明した後、性別における各動物の違いについて言及してある点。
- ② どちらも感覚を感じる仕組みについて説明した後、ヒトは肉食動物よりも感度が高いことについて説明してある点。
- ③ どちらも感覚を感じる仕組みについて説明した後、いくつかの動物についての感度の違いに言及してある点。
- ④ どちらもさらに細かい分類について説明した後、性別における各動物の違いについて言及してある点。
- ⑤ どちらもさらに細かい分類について説明した後、草食動物はヒトよりも感度が高いことについて説明してある点。

〔問20〕 この文章の内容に合致するものとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 五感のうち、化学物質を介して得る情報を感じるのは味覚と嗅覚であり、この二つの感覚のうち最も感度が低いのは甘味を感じる感覚である。
- ② 味覚に対するヒトの感度が草食動物より劣っているのは、草食動物が持つ味覚を感じるための遺伝子がヒトでは欠損しているからである。
- ③ 嗅覚は、受容体タンパク質に匂い物質が触れることで感ずる感覚であり、細胞内で生ずる電気信号が脳の嗅覚中枢に伝えられて匂いを認識する。
- ④ ヒトの嗅覚は、視覚や聴覚などが発達した一方で退化してしまい、仲間とのコミュニケーションに使用することはなくなった。
- ⑤ 「食べ物を美味しく食べる」ことについて味覚より嗅覚が大きく関与していることは、ヒトが日常の生活の中で経験することである。

